

# 蔵田遺跡第5次発掘調査現地説明会資料

調査原因：津市産業・スポーツセンター整備事業

所在地：津市北河路町地内

調査主体：津市教育委員会

調査期間：平成25年8月27日～2月14日(予定)

調査面積：3,020㎡

## 1 はじめに

蔵田遺跡は、安濃川中流の北側、標高8m前後の沖積地に位置しています。現況は、大半が水田として利用されています。これまで今回の調査区の東に隣接する中勢バイパスやメッセウイングみえ建設に伴う発掘調査では、弥生時代から古墳時代にかけての集落跡や、飛鳥・奈良時代の建物跡、流路や水を利用するための堰の跡などが見つかっています。



遺跡位置図(国土院 1:25,000)津西部より

## 2 調査の成果

今回の調査では、南側から調査区をA1～3地区に分けています。周囲より相対的に高いA1・2地区では飛鳥・奈良時代の掘立柱建物、低いA3地区では古墳時代の川やこれに伴う「しがらみ」や「杭列」などが見つかりました。

### 古墳時代

#### (1) 流路1～3

流路1は、A3地区を西から東に流れ、幅は最大20mほど、深さは1.5mほどあり、流路2・3はこの支流にあたります。下流側ではしがらみ3・4、杭列1・2が見つかりました。流路2は、A3地区の南西から北西方向に流れ、流路1に合流します。幅は最大で12m、深さ約1mで、調査区西端近くにしがらみ1・2があります。流路3は流路2が途中で分かれたもので、幅4～6m、深さ0.6mほどです。しがらみ1・2によって流れを分けているようにも見られます。これら流路からは、S字甕や小型丸底壺、高坏など古墳時代の遺物が出土しています。



流路1～3(北東から)



しがらみ1(南西から)

#### (2) しがらみ1～4

しがらみ1は、流路2を東西方向に横切って造られています。長さ4.6m、幅約0.9m、高さ約0.6mあり、主に直径8cm前後の木杭を2列に並べ、その間に長いもので約2.3mある横木6本を挟んでいます。今回見つかったしがらみの中で規模が最も大きく、比較的良好的な状態で見つかりました。

しがらみ2は、しがらみ1のすぐ下流にあり、長さ約1.3m、幅0.3mほど残っていました。



杭列2(南西から)

しがらみ3は、流路1の流れに沿う方向に延び、長さが約2.8m、幅約0.9m、高さは0.3mほど残っています。木杭は、丸杭や板状のものなど約80本が見つかりました。

しがらみ4は、流路1の流れに直交する方向に延び、長さ約2.4m、幅約0.8m、高さが0.2mほど残っています。太さ4cm程度の木杭や幅約8cmの板状のものなど、約40本からなります。

### (3) 杭列1・2

杭列1は、流路1のほぼ中央のやや浅くなった部分に、流れに並行して約2.1mに渡って木杭が打ち込まれています。丸杭のほか板状、角材に近いものがあります。杭列2は、流路1の東端で南からの流れに直交するように、東西1.9mに渡って木杭が打ち込まれています。



流路1・2から出土したS字甕、小型丸底壺

## 飛鳥・奈良時代

### (1) 流路4・5

流路4は、A3地区の南端を東西方向に流れ、途中で北側に分岐します。幅1.2~2.4m、深さ0.6~0.9mほどです。須恵器甕、高杯、平瓶等が出土し、飛鳥・奈良時代のものと考えられます。

流路5は、A2地区のほぼ中央を北西から南東方向に流れ、幅3.8~5.1m、深さ0.8mほどです。流路4と同じ時期の須恵器、土師器片が多く出土しています。



流路5 (A2地区 西から)

### (2) 掘立柱建物1・2

掘立柱建物1は、A2地区のほぼ中央で見つかった建物跡で、規模は南北2間(3.6m)で、東西は調査区外に延びるため不明です。

掘立柱建物2は、A2地区の南東で見つかった建物跡で、南北2間(4.2m)、東西3間の建物跡です。棟方向はE34°Sで、掘立柱建物1とほぼ同じ方向の建物です。



流路4・5から出土した平瓶、壺、椀

## 中世

### (1) 流路6

流路1の上層で見つかったもので、幅は約4m、深さは約0.5mあり、山茶碗、山皿など中世の遺物が出土しています。

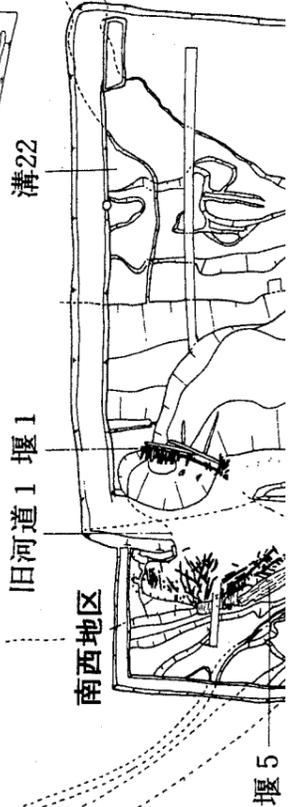
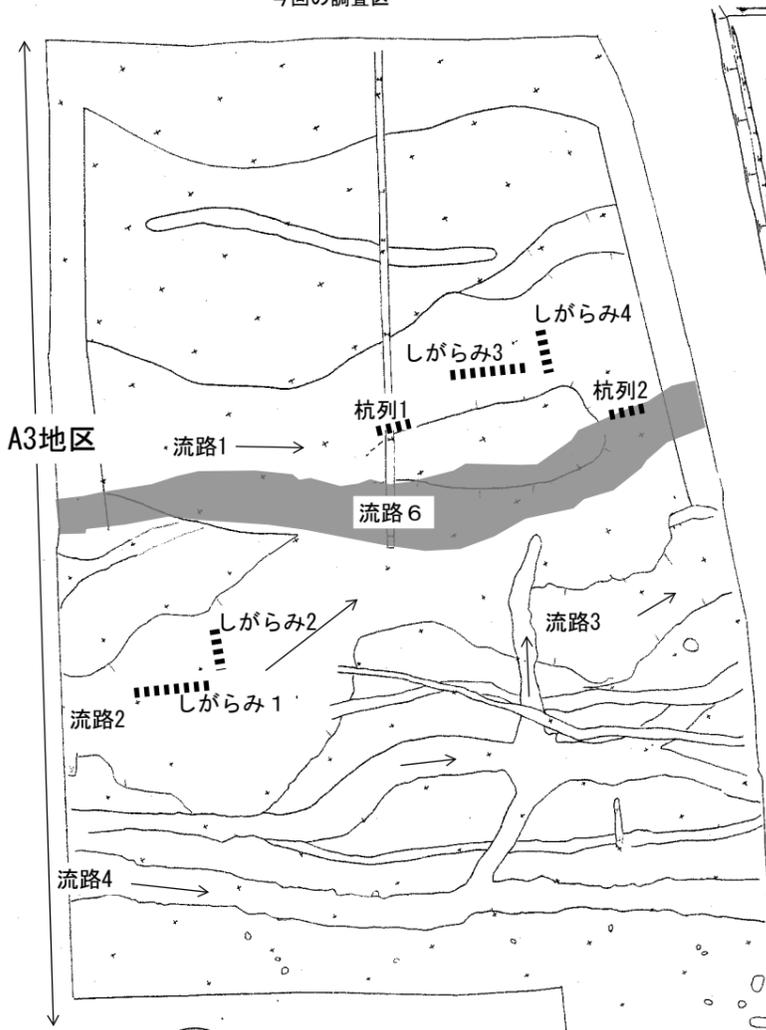
## 3 おわりに

今回の調査で確認された流路やしがらみ・杭列からは、その時々で流れを変える水辺で暮らした人々の生活の痕跡をうかがうことができ、当時の地形やそこに暮らした人々の営みを知るうえで貴重な資料を得ることができました。



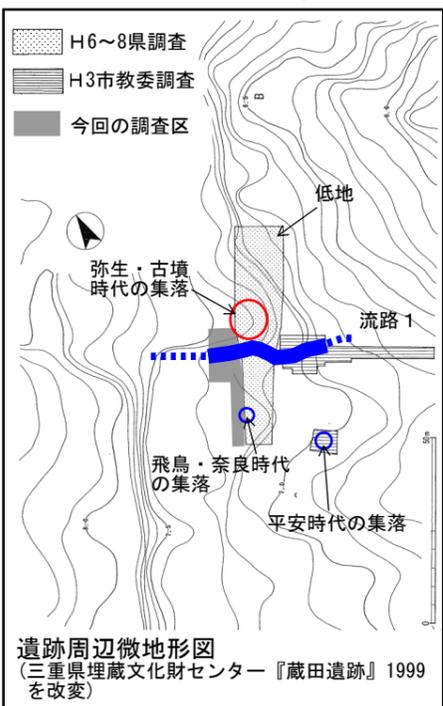
流路6 (A3地区 西から)

今回の調査区

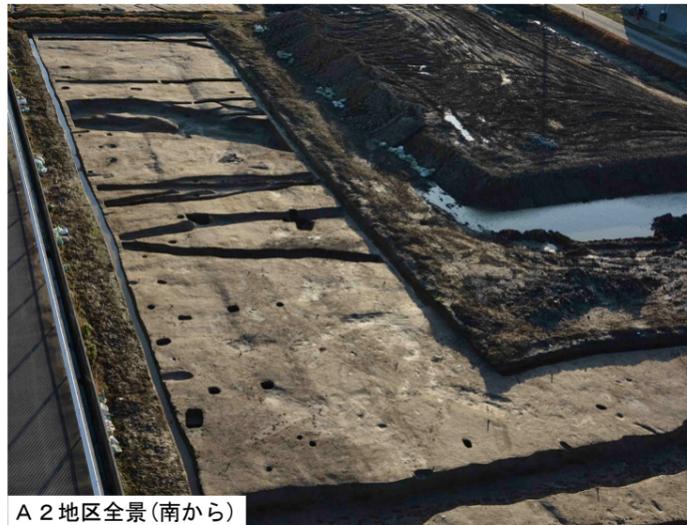
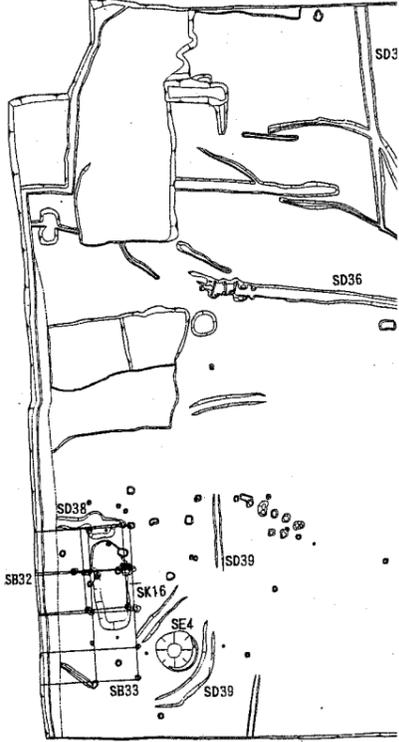
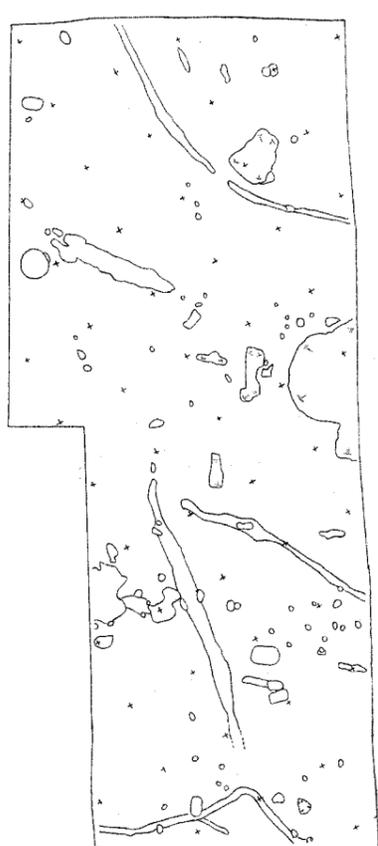


A2地区

A1地区



遺跡周辺微地形図 (三重県埋蔵文化財センター『蔵田遺跡』1999を改変)



A2地区全景(南から)



A1地区全景(南から)



調査区全景(北から)

蔵田遺跡平面図(1:400)